



情報の取り方？

各事業所やフロアーに掲示

永 寿 会 通 信

黄色い飛行船 第19号

2016年 10月14日

秋たけなわとなりました。職員の皆さんに於かれては、スポーツに読書や味覚の季節ですので大いに満喫してください。

当方9月18日～24日目での入院だけでなく、ご丁寧にも29日から6日までの更に収容される羽目になりました。今回は施設から救急車で搬送で、藤沢のかりん職員にはご心配をおかけしました。6日の午後から執務をしていますが不安もあります。

所で、病院では安静と食事調整のため、専ら読書やTVを見ておりました。特にTVは色々なチャンネルを見比べていましたが、「なんだこれは！」と強く思いました。NHKの一部も含めてですが、なんで似たり寄ったりなのかとしきりに感じました。

皆さんがどの放送会社の番組を見ておられるかはわかりませんが、どのチャンネルも何か似たり寄ったりと思いませんか？番組のジャンルも特色が少なくなって、おふざけ番組や旅番組、コメンテーターとの批評ごっこ。また差別するのではありませんが、MCと呼ばれる司会進行役がいかに優秀であろうが、お笑い芸人出身のオンパレードとは何でしょうか？そんなに人材がないのでしょうか。番組に登場するひな壇のコメンテーターは殆んど漫才師やお笑い芸人ばかり。あちこちの番組に登場し、コンビの片方が司会で、もう一方がコメンテーター、場合によってはMCとコメンテーター入れ替わったりで、正直なんでこうなるのと思う次第です。

また番組で次の番組の宣伝をしたり、出演者をゲストとして引っ張り出したり、ある番組が受けると、一寸趣向を変えて雨後の筍のように余り変わらない番組が出来ます。東京の築地の移転問題に絡んで、豊洲の施設整備問題の放映は呆れるほどです。

最近、新聞や本を若い人は読まなくなったと言われていますが皆さんはどうですか？新聞の方がしっかりと色々な側面から調査し、報道をしているように感じられます。新聞社によって捉え方が異なったり、特集や連続した課題報道などもあり、論説や評論、発掘記事等で個人的には参考になります。一番の良い所は色々な記事を一度に見渡せて、重要なものにチェック出来たり、繰り返し読み直すことが出来ることです。TVの放映は一過性で再度見直すことが出来ません。人によりますが、新聞や本は、文字や文章を見、読みこなすことで人間の想像力、解析力が向上し、豊かになります。

IT時代とはいえ、液晶やTV画面ばかりに依存することなく、活字も大事にしてください。

以 上